



タラソテラピー《海洋療法》とは

——— 海は人類の病を洗い流す ——— (ユウリビデス：古代ギリシャ詩人)

フランスで医療の一端を担ってきたタラソテラピー〈海洋療法〉。

タラソテラピー〈海洋療法〉の語源はギリシャ語のタラッサ〈海〉とテラピー〈療法〉。

フランスで永年の歳月をかけて発達してきました。

タラソテラピー（海洋療法）を医療として確立させたのは、生理生物学者のルネ カントン。

“タラソテラピーの父”と呼ばれているルネ カントンは人類の健康に大きく貢献する功績を残しました。

1904年、ルネ カントンは人間の血液が海水と非常に似ている事を発見。血液濃度に調整した海水は血液と置換できることを実証し世間を驚かせました。

ルネ カントン実験の成果により海水を用いた治療法が確立され、1907年に最初の海洋診療所がパリに開設されました。診療所では、とくに20世紀初頭に死亡率が非常に高かった虚弱児の治療が行われました。



海水による治療効果は驚くべきもので、当時、重大疾患とされていた胃腸炎、小児コレラ、無栄養症、栄養失調、皮膚疾患などに高い効果を発揮したのです。

1961年フランス医学アカデミーは「タラソテラピーとは海洋性気候の中で、海水・海藻・海泥を用いて行う自然療法」と定義づけしました。タラソテラピーは、医師の指導のもと人間のさまざまな自然治癒力を引き出す医学療法とされたのです。

タラソテラピーは慢性的な病気（リウマチ・ぜんそく・アレルギーなど）の治療から、近年では予防医学やリハビリテーション、リラクゼーション、皮膚のトリートメントのため、タラソテラピーがたいへん人気を集め、さらに健康な身体のためのダイエットやフィットネス、美容分野にも取り入れられるようになりました。



タラソテラピーから生まれたタルゴ —— 誰も真似できない、タルゴの健康美 ——

タルゴの語源はギリシャ語のタラッサ〈海〉とフランス語のアルゴ〈藻〉に由来しています。南フランスのロックブリューヌに本社を置くタルゴは、BLC 研究所、製造工場、営業部、輸出部、教育部、トレーニングセンター、建設設計部、スパマネージメントと一貫した体制で運営されています。

本物の美しさを追求しつづけているタルゴ、その歴史のスタートは1964年。

1966年にタルゴBLC研究所が独自の製法(マイクロエクスプロージョン)によって『マリンアルゲ』を製品化したことにより、マリンビューティとスパセラピーを代表するブランドとなったのです。

「マリンアルゲ」とは、タルゴ独自の製法(マイクロエクスプロージョン)により海藻中のミネラル、ビタミン、アミノ酸などを全て取り出すことを可能にした100%天然海藻粉末。

タルゴの特許取得製品である「マリンアルゲ」は、活力を与えバランスを整えて、身体を癒やすといった最高の効果をもたらします。



マリンアルゲは永年にわたりフランスで海洋療法に用いられ、皮膚疾患や血管・循環器系疾患などの治療に活用されてきました。タルゴはマリンアルゲを美容と健康の分野に応用。海洋植物などのエキスを配合した化粧品を開発・製品化し『健康・美・活力』を追求しました。

タルゴのコンセプトは「健康美」。現代人の体は、体の調子を整えるために欠かせないミネラル不足に陥っているといわれています。タルゴ製品には、海から得られるミネラル、たんぱく質、ビタミン、アミノ酸、微量元素などがバランスよく含まれています。医学・学術に裏づけされたタラソテラピーを最も有効に応用したタルゴトリートメントは、効率よく海水に含まれるミネラルを補給することができるのです。

日本でも、美しくすこやかに生きたいと願う多くの人々に注目され、タルゴのバリエーション豊かなプロフェッショナルトリートメント(フェイス&ボディ)が多くのスパやエステティックサロンに導入されています。

